

令和3年度ボランティア団体成長支援事業  
審査会から付された意見

提案者：特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進機構

事業名：組織のリデザイン支援プログラムノウハウ移転事業

令和3年度の事業では、令和2年度に取り組まれているセルフチェックツールを用いた支援対象である現場団体の支援の経験を踏まえ、そこから得られたノウハウを中間支援組織で共有し、中間支援組織の支援力を高めることを目指すということが、プレゼンテーションで確認することができました。県内の中間支援組織の力量形成をはかり、中間支援組織を通して現場で活動するボランティア団体を支援するという考え方は、基金21成長支援事業として取り組む事業としてふさわしいという点で、この事業として採択いたします。

中間支援組織の支援は、セルフチェックツールを用いた現場団体の支援のノウハウが共有されることが前提です。令和2年度のこれまでの事業では、現場団体の参加者の意識も高く、支援している中間支援組織も主体的に事業にかかわっていることもわかりました。令和2年度の成果として成果報告フォーラムの開催や報告書の作成が予定されていることと思います。令和3年度の事業の前提として、これまでの成果（成功事例も失敗事例も）が可視化され共有されることを期待しています。

令和3年度の事業では、一緒に事業に取り組む中間支援組織を民営団体に限定しつつも、県内にその対象を広げるとのことですが、プレゼンテーションで指摘のあったとおり、現在の協力サポーターがない地域も見られます。県内における地域ごとの中間支援組織がネットワーク化を図るなどして、将来的には、どの地域で活動しているボランティア団体も必要な支援が受けられるようになることを目標に、事業に取り組んで頂けたらと思います。

中間支援組織を通じた現場団体の支援、特に事業ではなく組織そのものの変革を求めるようなものは、長期間のかかわりが求められるものです。さらに、組織の実情や活動領域、組織の課題によって、実際の支援は多様なものになることが容易に想像できます。セルフチェックツールによる組織診断を通しての現場団体支援が、中間支援組織にノウハウとして定着し、持続的に活用できるような支援体制の構築も視野に入れて、活動に取り組んでいただけたらと思います。